

GE-2-i-04	<b>B 現代社会論</b>	第2学年	前期 選択必修	1.5単位
担当者	田北 康成			
一般目標 (GIO)	日常の社会問題や現象を取り扱った映像作品（ドキュメンタリーや映画）などは、直接言及していないものの、そのテーマが憲法に直結していることが多い。本講座は、映像作品を通して日本国憲法のなかでも、特に人権を中心に理解することを目標とする。			
到達目標 (SBOs)	映像メディアの特性を理解した上で、人権を中心とした憲法に対する理解を深め、日々、身の回りで起きている社会問題や現象に興味を持つことと、独自の意見形成ができるようになることを到達目標とする。			
受講心得・ 準備学習等	受講生の関心や時宜に応じて取り扱うテーマを若干に変更したり、順番を前後させたりすることがある。受講の準備学習としては、毎日1時間程度は、ニュースをみたり、新聞（一般紙）を読んだりして社会の状況を把握するよう強く勧める。映像を利用してプレゼンをするので、ノートをよく取り、興味を持ったことや分からないことについては、調べて書き込み、独自のノートを作成すること。概ね授業と同等程度の時間（90分）を使うことが望ましい。私語や途中の入退室は講義の妨げとなるので厳禁とする。			
事後学習・ 復習等	授業時に取り上げるトピックに関連した参考資料（書籍や映画等）を紹介するので、積極的にアクセスしてほしい。			
オフィスアワー	質問等は、講義後に受け付ける。連絡先（メールアドレス）は開講後に提示する。			

### 授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義
回	項目	内容
1	はじめに	講義概要と評価方法の説明
2	憲法と主権在民	憲法の性格と憲法を取り囲む社会状況
3	象徴天皇制	象徴天皇制とは？ 映像に描かれているものと描かれないもの
4	法の下での平等	人は平等なのか？
5	人間らしく生きること(1)	尊厳を持って働くこと
6	人間らしく生きること(2)	生存権、セーフティーネット、生活保護とは？
7	平和主義 (1)	平和主義とは？安全保障、集団的自衛権
8	平和主義 (2)	自衛隊とはどのような組織か？
9	思ったことを表現する自由	精神的自由とそれを表現すること
10	居住・移転の自由	住み続けること、好きなどところに移動することと、公共の福祉による制限
11	刑事司法と裁判員制度 (1)	事件や犯罪はどのように伝えられているか
12	刑事司法と裁判員制度 (2)	死刑制度、裁判員制度をめぐる現状
13	憲法改正の議論と国民投票	改正議論の内容と手続としての国民投票
14	まとめ	講義内容の振り返り

成績評価の方法	毎回のレスポンスペーパー（25%）、講義内容の理解度を確認する論述試験（75%）
成績評価の基準	毎回参考文献・（映像）資料等を紹介する。授業での問題提起を受けて、毎回、レスポンスペーパーで独自の意見形成ができているかを確認しつつ、授業後に教科書や書籍・資料等を使って復習し、発展的学習ができているかどうかを評価する。総合して60%以上を合格とする。
教科書	工藤達朗編『よくわかる憲法 第2版』（ミネルヴァ書房 2013年） その他、授業時に参考資料等を配付する。
参考書など	ベアテ・シロタ・ゴードン著/平岡磨紀子構成・文『1945年のクリスマス 日本国憲法に「男女平等」を書いた女性の自伝』（柏書房 1995年） 松井茂記著『マス・メディアの表現の自由』（日本評論社 2005年） 須藤遙子著『自衛隊協力映画:「今日もわれ大空にあり」から「名探偵コナン」まで』（大月書店 2013年） 井芹浩文著『憲法改正試案集』（集英社 2008年）